



盆踊り大会の小学生八木節連に、拍手喝采！

入間川に隣接する前田地区は、田んぼが多く、きれいな自然が残る地域です。
前田自治会のモットーは、「きれいで明るい地域づくり」。昨年5月の「排水路クリーン作戦」には98名もの自治会員が参加し、12月の「空き缶・空きびん拾い」では、みんなで焼きいも大会も開催しました。
夏のお楽しみは7月の盆踊り大会。小学生の八木節連で幕を開け、子供会やソフトボール部の出店が盛り上げます。9月の柏井自治会との合同敬老会では西方囃子を披露し、地域団体の協力もあり楽しく実施しました。「参加こそ活性化！」の気持ちで活動しています。

Zoom UP コツメカワウン

②

コツメカワウンはカワウンの仲間の中で最も小さい種で、中国、インドから東南アジアを中心に生息しています。イタチなどに近い食肉目の動物で、「コツメ」の名前のとおり指の爪が小さいのが特徴です。水辺に住み、エビ・カニ・魚などを食べます。
園内には今春、植物が茂って、滝が流れる放飼場と、プールを透明なパイプでつないだ施設ができました。この施設で、コツメカワウンの生き生きしたようすを観察できます。ぜひご来園ください。



【コツメカワウンデータ】
食肉目イタチ科
体長45-60cm

市民リレー

私の宝物 …

ビリヤード用のキュースティック



関根沙織さん
(入間川在住)

私の宝物は、ビリヤード用のキュースティックです。
このキューは、12年前私が、今のキューを作る会社に入ったときに出会ったもの。中心に芯を入れ、黒檀や銘木をベースに色の違う種板を張り合わせて、寄木細工のように模様を組み、削り磨き上げて作ります。初めて手に取ったときの狂いのない精巧な作りと美しさが、この仕事

に人生を賭けようと決意させてくれました。1本作り上げるのに約30人が分担し、5年ほどかけ、熟練の技で完成させます。だからこそ単なる道具ではない魂を感じます。

日本のモノ作りの大切さを実感し、その技術を失ってはいけないと心に強く思わせてくれるキュー。これからもビリヤードをとおして「メイド・イン・ジャパン」のモノ作りのすごさを世界中に発信していきたいです。

今回は、柏原にお住まいの方を紹介します。



原点となったキュー「MUSASHI」

仲間たち Vol.404

さわやか気功・太極拳



「ゆっくりとした音楽に合わせて身体を動かし、全身の経路を刺激することで、生命力を高め、健康維持や病気の予防に役立てたい」と、私たちの会

は、昨年7月に10人ほどで結成し、毎月3回火曜日、水富公民館で気功や太極拳に親しんでいます。

おしゃべりをしながら、和気あいあいと笑顔の中で楽しく、自身の体力と筋力アップに励んでいます。また、ゆっくりと時間をかけて「型」を覚えることは、脳を刺激するので、認知症予防にもつながっているようです。

初めての方でも気軽に始めることができますので、心身の健康のために、一緒に楽しい汗を流してみませんか。

問合せ 飯島厚子さんへ ☎2954-3555

情報ガイド

- 市政 ● 暮らす ● 学ぶ・楽しむ
- 教育・子育て・キッズ ● 募集
- 官公庁など

- 主に市からのお知らせを掲載します
- 「定員」は原則として先着順、「場所」の掲載がない催しは問合せ場所が会場、「費用」の掲載がないものは無料です
- 公式ホームページにはさらに多くの情報があり、公民館などに設置してある公共施設予約端末でもご覧いただけます

公式ホームページ <http://www.city.sayama.saitama.jp/>
公式モバイルサイト <http://www.city.sayama.saitama.jp/mobile/>
市役所の所在地 〒350-1380 狭山市入間川1-23-5



7月12日(日)は 狭山市長選挙の投票日

選挙管理委員会では、7月26日任期満了による狭山市長選挙の告示日を7月5日(日)、投票・開票日を7月12日(日)に決定しました。

詳しくは「広報さやま」6月号でお知らせします。
◆立候補予定者説明会
日時 5月30日(土)、10時から
場所 市役所6階602会議室
問合せ 選挙管理委員会事務局
へ内線6061

ありがとうございました
温かい寄附をいただきました。厚くお礼を申し上げます。
▼狭山市農業祭実行委員会から社会福祉のために5万円
▼てづくりチャリティーさやま1つとから児童福祉のために2万6千560円

- ▼一般社団法人埼玉県トラック協会から新入学児童にトラック型防犯ブザーを1千215個
- ▼みどりの基金へ寄附
- ▼入間川婦人会から1千365円
- ▼さやま市民大学「まちのガーデナー養成学科」から7千729円
- ▼いるま野農業協同組合から11万円

雨水貯留施設などの施設費を補助

市内に住所・自己居住用住居を有し、新たに雨水貯留施設などを設置する際の設置費を補助します。

補助額 工事に要した費用の2分の1。ただし、簡易貯留施設(タンク)は3万円、地下貯留(浸透施設・桝・トレンチ)は4万円が上限。申込み申請書(道路雨水課に用意。ホームページからもダウンロード可)と必要書類をもって同課へ内線2151

市長随想 113

私の通勤路

自宅から市役所までは2.2km、約30分の道のりを歩くのも、あと僅かとなりました。祖父が入間川街道と呼び、その昔、坂東武者が疾走した鎌倉街道の上道(鎌倉より信濃・越後・陸奥方面に通じた道)であったと教えられたこの県道を歩きながら、往時を思い浮かべました。

自宅から県道に出て北に進むと、北入曾共同墓地があります。その隅に「風雨順時 五穀豊穰」を祈る榛名神社(群馬県高崎市)の立札がありますが、これはこの先が畑であり、集落の境であった証です。ま

た、昔は自動車会社の寮から狭山郵便局の辺りまで雑木林が続いていました。その林は、終戦前に飛行場(現:航空自衛隊入間基地)の拡張計画で吸収されてしまいました。終戦を迎え、農家に払い下げられました。畑や山中には馬頭観音や野仏が点在し、行人塚と呼ぶ小さな塚があったことも覚えています。麦や甘藷(サツマイモ)の出荷場所にも使われたこの県道は、自動車を通るたびに風塵が舞い上がる砂利道でした。

時が流れ、手引きの消防ポンプの置き場や火の見櫓も姿を消し、今では僅かに残る畑や雑木林、そ

して化粧品会社や工業高校、さらに近年急速に増えている介護施設へと街道筋も様変わりしました。朝、この道で通学の児童と行き交うときの明るい「おはよう」の声は、今日の私に元気を与えてくれます。



狭山市長 仲川幸成
似顔絵:花倉正喜氏